



286

若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

- 法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

半杓水を教えた石の水槽

一本館の改築工事が始まりましたー

暑い寒いと右往左往して気がつくともう時節は師走です。

皆様如何お過ごしでしょうか。若竹学園は皆様のご支援によりましてお陰さまで新たな増築部分が完成し、本館の改築工事に取り掛かかりました。

そのために本館で生活していた児童と生活用品や備品などが総て新館に移動となりました。

完成の来年 3 月までは児童も職員も不自由を我慢しなくてはなりません、児童達が卒園して大人になった時にはその不自由さがとてもよい思い出となると思います。

先日、改築工事の進捗状況の確認のために工事中の本館に立ち入りました。

職人さん達の働きで、仕切り壁の大半が取り除かれていましたが、2 階 3 階の壁際に洗面台が残されていました。

約 20 年前の学園新設時に、洗面台を特注しました。重量は約 800 kg で長さ 4,5 尺・幅 40 程の石で中を水槽とするためにくり抜かれて造られたものです。この全長 4、5 尺もの素材が地元がないために、広島石材商に依頼した特注洗面水槽です。



水槽は貯水方式で、柄杓を使って水槽より水を掬って洗面器に移します。その水の量は柄杓に一杯半で、二杯めの半分は元の水槽に戻すのです。それは洗面を行うには一杯半の水があれば用が足せることを知ってもらう為です。

茶道に於いても然りで半杓水を茶釜に戻します。つまり一滴の水にも命が宿っているので粗末にしない、と言う教えがあるのです。

道元禅師はそのことを「半杓水の教え」として身を以て実践されてたのです。

蛇口を緩めれば限りなく出てくる水を放水したままで歯磨きや洗面を行う生活と比較すれば常識の洗面法となるでしょうが、学園の子供達は約 20 年間実践して来たのです。

良し悪しは別として総ての価値観が変化した中で、この時代遅れな水槽を如何するかが問題となりました。冷たい水、不衛生な貯め水…。この水槽は取り除かれて快適な温水の出る洗面台が取り付けられることとなりました。

学園は大きく変わります。

—了—

引っ越し

11 月 1 日から 10 日までの 10 日間、新しくできた増築棟への引っ越しを行いました。亀山学園やなごみハウス園から職員の方が応援に来て下さり、無事引っ越しを終える



事ができました。

最初は珍しそうに引っ越し作業を見ていた子どもたちでしたが、

次第に「何かすることないん？」と積極的に手伝ってくれ、「ここは何に使うん？」と、新しい生活を想像しながら、共有スペースの荷物を運んでくれていたようです。

子どもたちは 11 月 4 日に引っ越しをする予定だったので、自分達で悩みながら荷造りをして移動させました。

荷物を運ぶのがたいへんでした。マンガと遊び道具を運びました。

いらないざぶとんを大きなごみ箱に投げ入れたのが楽しかったです。

子どもたちと物の配置を考えながら引っ越しを終えました。

生活スタイルが変わるので、今まで決めていたルールを変更し、子どもも大



人も試行錯誤しながら生活しています。

既存建物の工事が終わるまでは、増築された建物で全員が生活します。狭さや不便さもあると思いますが、工夫をしながら生活していきたいと思います。



みかん狩り

11 月 19 日ご招待いただいて、森谷さんのところでみかん狩りをさせていただきました。

1 本の木につやつやとしたオレンジ色のみかんが生っていました。森谷さんに、どんなみかんが美味しいのか尋ねながら、1 個 1 個丁寧にハサミで採りました。



みかんの採り方もしっかり教えてもらって上手にきることができました。

若竹・青峰学級だより

テスト&テスト

中学3年生は、11月13日(月)に第4回学習の診断を実施しました。3年生にとっては進路を決めるにあたっての重要な時期となるので、放課後コース別に分かれて補習を受けたり、休み時間などに質問をしたりと意欲的に学習を重ねた上でテストに臨み、持てる力を出し切るべく頑張りました。

11月28日(火)～30日(木)の3日間、2学期の総仕上げとして中学生は9教科のテストを実施しました。小学生もこれに合わせてテストを実施しました。わからない問題にも粘り強く最後まで集中して取り組み、日ごろの勉強の成果を発揮できました。

体育の授業

体育の授業の一環としてスポーツチャンバラを取り入れています。道場や道具、子どもの体力などの関係から、3つのグループに分けて実施しています。道場の掃除から



始まって、準備運動、型の練習、相手との打ち合いを行います。授業の後半には勝ち抜き戦をして最後まで残った子どもは誇らしげでした。



坐禅体験

喝破道場の坐禅堂を借りて本格的な坐禅に取り組んでいます。

「何も考えない時間」を体験しようと真剣に取り組んでいます。普段はなかなかじっとすることができない子どもも、この時は静かに座ることができています。中には終わった後、「頭がすっきりした」と気持ちよさそうに言う子どももいます。

最近では、瞑想が心身に良い効果をもたらすことが科学的にも解明されてきており、今後もできる限り坐禅を取り入れていきたいと考えています。

進路学習(小中合同)

将来のことに不安を感じている子どもが多かったため、中学校卒業後にどのような進路があるかについて知ることで、具体的なイメージを持てるよう学習しました。

高等学校にもさまざまな種類があることや、大学や専門学校のこと、資格が必要な仕事のことなどを学び、それぞれの生涯賃金の差なども比較しました。

具体的な職業の例として、警察官やうどん職人などを例に挙げて、仕事の内容や、職業に就くために必要なこと、大まかな給料などを学びました。

校外学習(小学校)

化石の学習をしたことをきっかけに、化石や地層に興味を持ち、学園周辺で岩石を観察したりしていました。そこで、五色台少年自然センターの自然科学展示室まで歩いて出かけ、化石や石器、土器、生物の標本などを観察しました。特に世界最古のナマズの化石には高い関心を示し、目を輝かせながら説明文を読んでいた。

食育

11 月 14 日の食育は、夕食に寄せ鍋を作りました。寒い日が続いていたので、鍋は子どもたちにも好評でした。

子どもたちと、「どれから入れる？」と相談しながら、自由に食材を入れていました。男の子には少し量が少なかったようでしたが、みんなおいしく食べていました。おにぎりも作り、ふりかけをかけたり、ハートの形にしたりと思いついたものが出来上がりました。



編み物

女の子の間では編み物や羊毛フェルトが流行っています。コースターなどから始め、今では座布団や可愛いマスコットなど、どんどん作品が増えています。分からない所は職員に聞きつつも、ほとんど自分で作り上げます。一度始めると、完成までの集中力はこちらが感心するほどでした。



11月の行事



- 1~9日 引っ越し
- 14日 食育
- 16日 買物学習
- 18日 太鼓

在籍人数 平成 29 年 11 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	4	1	5
	中学生	5	4	9
	その他	1	0	1
	計	10	5	15
女 子	小学生	0	0	0
	中学生	5	1	6
	その他	0	0	0
	計	5	1	6
合計		15	6	21

編集後記

新しい建物での生活にも慣れてきて、ストレスが溜まりやすい時期なので、1人1人に気を配ってまいります。

セラピスト 前田愛弥

第 286 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈